



# へんしも

第48期 第2四半期 / [平成30年4月1日~平成30年9月30日]

Business  
Report

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード: 6402



代表取締役社長  
佃 維男



代表取締役専務  
山本 琴一

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 
- 2～3 財務ハイライト
- 
- 4 財務諸表
- 
- 5～6 事業概要
- 
- 7～8 製品トピックス
- 
- 9 トピックス
- 
- 10 会社情報

### 表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。  
スピーディーな情報開示の想いです。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第48期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

### 中期経営計画・第48期全社活動方針

当期は、中期経営計画(3ヶ年)「成長」の最終年度であり、重点実施事項としまして

1. 顧客信頼度強化：顧客信頼度強化こそが、  
当社の更なる成長の根幹を形成する。
2. 人材の成長：人材の成長こそが、  
企業価値向上/顧客満足につながる。
3. 新市場開拓：今後の更なる成長の為には、  
新たな市場開拓が不可欠である。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

## 営業の概況等

当第2四半期累計期間における我が国経済は、豪雨や地震等自然災害による影響もあり、輸出や生産活動が弱含んだものの、個人消費・設備投資は回復しており、総じて景気は緩やかな回復基調にありました。

かかる状況下、当第2四半期累計期間においては、前年同四半期に比べ、減収・減益となりましたが、平成30年5月10日に開示いたしました業績予想にほぼ沿った結果となりました。

前第2四半期累計期間においては、秋口に控えたシャーシの一斉モデルチェンジを見据えた駆け込み需要があったことが主要因であります。

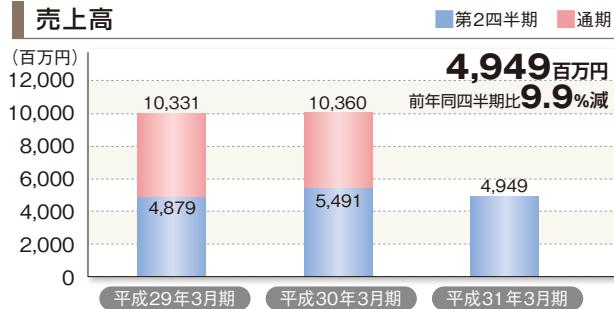
オリンピック需要や、全国的なインフラ整備事業に支えられ、

当社製品に対する需要は引き続き堅調で、当第2四半期会計期間末における受注残高は、第1四半期会計期間末残高に引き続き高水準で推移しております。

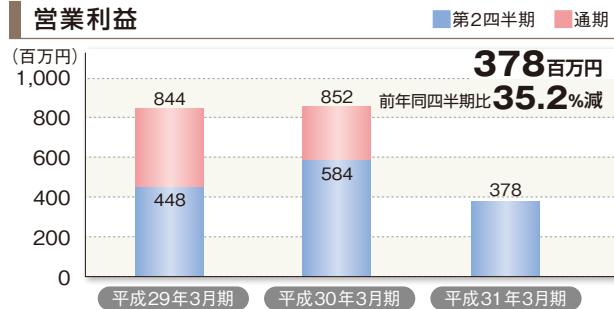
業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は593百万円増の5,559百万円(前年同四半期比11.9%増)、売上高は541百万円減の4,949百万円(前年同四半期比9.9%減)となりました。損益につきましては、営業利益は205百万円減の378百万円(前年同四半期比35.2%減)、経常利益は206百万円減の392百万円(前年同四半期比34.4%減)、四半期純利益は142百万円減の267百万円(前年同四半期比34.8%減)を計上することとなりました。

## 平成31年3月期第2四半期の業績ハイライト

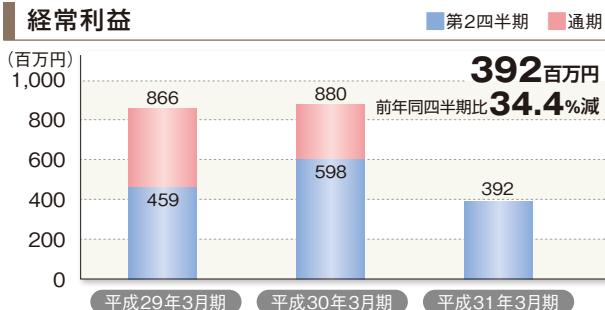
### 売上高



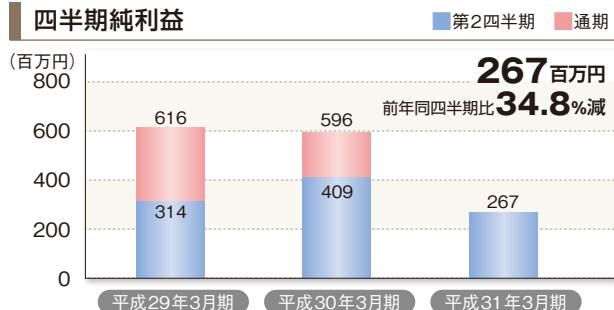
### 営業利益



### 経常利益

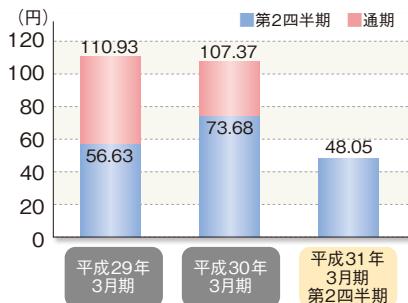


### 四半期純利益

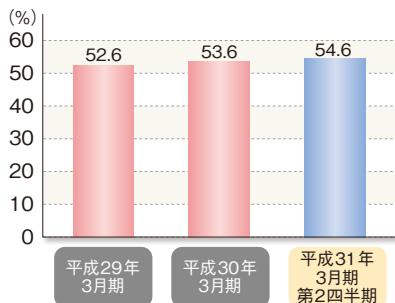


## 財務分析指標の推移

### 1株当たり純利益



### 自己資本比率



### 1株当たり純資産



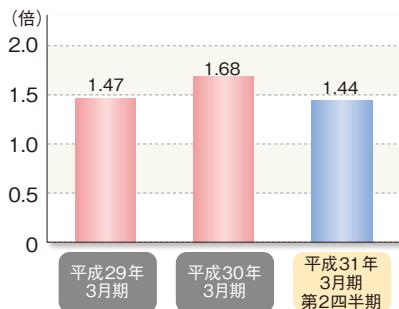
### ROE (自己資本利益率)



### PER (株価収益率)



### PBR (株価純資産倍率)



## 通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	10,300百万円	840百万円	860百万円	593百万円	106円68銭

## 財務諸表

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (平成30年9月30日)	前 期 末 (平成30年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	6,597,126	6,742,862
固定資産	2,408,497	2,314,786
有形固定資産	2,039,296	2,049,897
無形固定資産	22,705	30,242
投資その他の資産	346,496	234,646
<b>資産合計</b>	<b>9,005,624</b>	<b>9,057,648</b>
(負債の部)		
流動負債	3,875,371	3,996,651
固定負債	217,412	208,463
<b>負債合計</b>	<b>4,092,784</b>	<b>4,205,114</b>
(純資産の部)		
株主資本	4,908,311	4,846,874
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	4,240,469	4,179,028
自己株式	△1,879	△1,875
評価・換算差額等	4,528	5,659
<b>純資産合計</b>	<b>4,912,840</b>	<b>4,852,534</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,005,624</b>	<b>9,057,648</b>

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	前第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,949,646	5,491,113
売上原価	3,862,902	4,121,707
<b>売上総利益</b>	<b>1,086,743</b>	<b>1,369,405</b>
販売費及び一般管理費	708,223	784,995
<b>営業利益</b>	<b>378,520</b>	<b>584,409</b>
営業外収益	13,951	14,132
営業外費用	205	154
<b>経常利益</b>	<b>392,266</b>	<b>598,388</b>
特別利益	608	46
特別損失	48	181
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>392,826</b>	<b>598,252</b>
法人税等	125,711	188,689
<b>四半期純利益</b>	<b>267,114</b>	<b>409,563</b>

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	前第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	595,407	833,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,044	△459,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,382	△207,204
現金及び現金同等物の増減額	362,980	167,031
現金及び現金同等物の期首残高	772,740	1,243,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,135,721	1,410,342

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。  
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

**強力吸引作業車・汚泥吸引作業車**

売上高 **3,284**百万円

国内でトップシェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、  
 様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

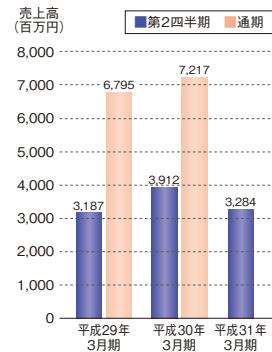
- 廃棄物の収集運搬
- 高揚程の汚泥回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SU-16BWP)



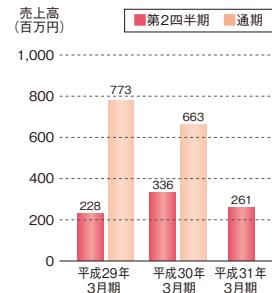
強力吸引作業車 (SM-04BVP)



**新製品等 / その他**

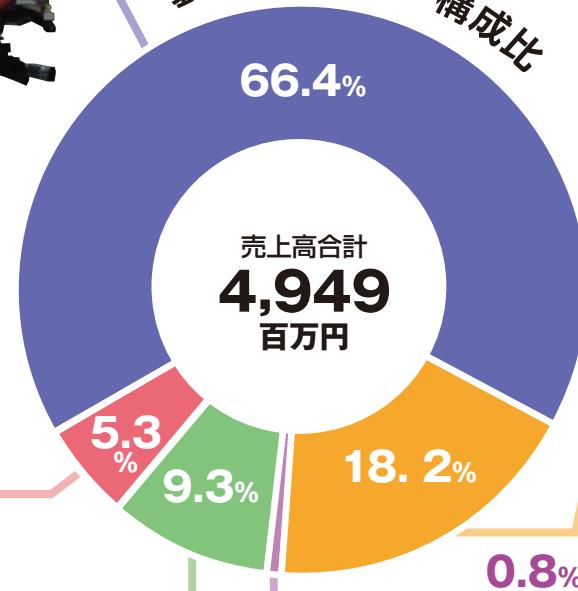
売上高 **261**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



定置型吸引機 (NEL-75SV)

製品別売上高 構成比



売上高合計 **4,949**百万円

**高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車**

売上高 **901**百万円

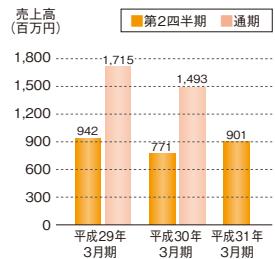
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで、市場で大きなシェアを占めています。  
 強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-05W2320)



**粉粒体吸引・圧送車**

売上高 **38**百万円

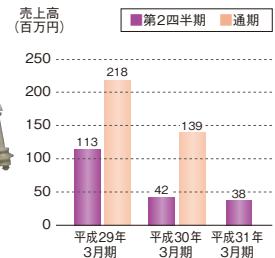
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等粉粒体の回収・高所搬送



粉粒体吸引圧送車 (SQ-16BVT)



**部品販売**

売上高 **463**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



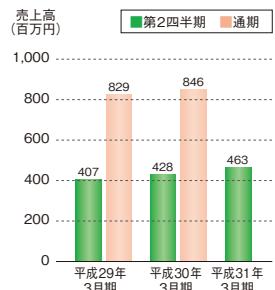
パワースライドノズル (回転式ノズル)



中間ジョイント (ホース接続ジョイント)



アタッチメント (吸引アタッチメント)



## 3トン 新方式高圧洗浄車 (JT-03W2020A)



(デモンストレーション車)

新方式「特殊トランスファーPTO※」採用により、能力が30%向上。(20MPa・200ℓ/min)

タッチパネル方式採用により操作性が向上。

自動回転数制御機構(サブ)による燃費向上。

クラス最大級の水タンク容量。(2.8㎡)

※PTO=車輛からの動力取り出し装置



タッチパネル操作画面

## 粉粒体袋詰め専用 超強力吸引作業車 (SQ-13SVFC)



本製品は吸引した粉粒体を助手席側の「サイクロンホッパー」で袋詰めし、回収しきれなかった粉粒体を、運転席側のフィルターを備えた「バグホッパー」により袋詰めする二段構えの専用車です。周囲に粉粒体を飛散させることなく、ほぼ100%の回収が可能です。機能・環境の両面に優れた性能を誇っています。また、クレーンを装備しており、荷役作業にも対応できます。

## 7トン 路面清掃車 (RR-07BJR)



本製品は粉塵が飛散しない、新しい方式の路面清掃車です。路面に高圧水を噴射し、粉塵を浮かして吸引回収します。回収した洗浄汚水を洗浄水として再利用し、リサイクル等環境に配慮した開発を行ってきました。

## 即納車「超短納期車輛」

当社製品は、通常ご発注から納車まで、最短でも約6ヵ月を要します。一方、短期での納車を希望されるお客様は年々増えており、この度、従来の短納期車輛に加え、最短7日で出荷可能な「超短納期車輛」を準備しました。

最短7日で出荷!!

白色塗装済



SQ-13BVP

〔強力吸引作業車〕



JS-04S2320A

〔高圧洗浄車〕

## 第48期 新入社員レストア研修



レストア前



レストア後

新入社員研修のカリキュラムの一つとして、レトロな自動車やオートバイを修復する「レストア研修」があります。

今年のレストア車は、1955年（昭和30年）頃に製造された「くろがねKD型三輪トラック」です。

新入社員（12名）は、レストアを通じて一から工具の使い方を学び、ものづくりの大変さや楽しさ、そして、出来上がっていく達成感を体験しています。（三輪トラックは2年計画で、完成は来年度の新入社員にバトンタッチします。）



## 会社の概要

設立年月日	昭和46年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	214名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

## 役員

代表取締役社長	佃 維男
代表取締役専務	山本 琴一
常務取締役	柳井 仁司
取締役執行役員	北村 和則
社外取締役	西岡 啓二郎
社外取締役	清金 慎治
常勤監査役	中村 修身
社外監査役	平井 雄一
社外監査役	筒井 康賢

## 事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場	〒783-0007 高知県南国市明見913-11 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター	〒783-0007 高知県南国市明見898-20 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
eセンター	〒783-0007 高知県南国市明見898-26 TEL (088) 864-5412 FAX (088) 864-5411
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中北区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

## 株式の状況

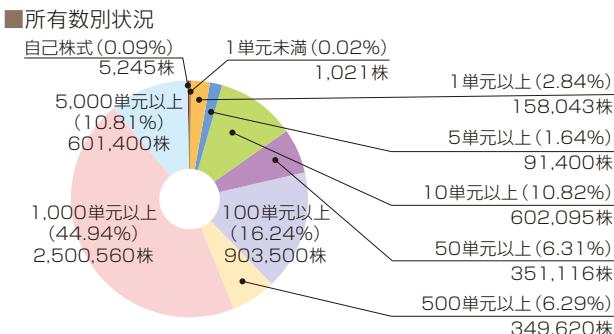
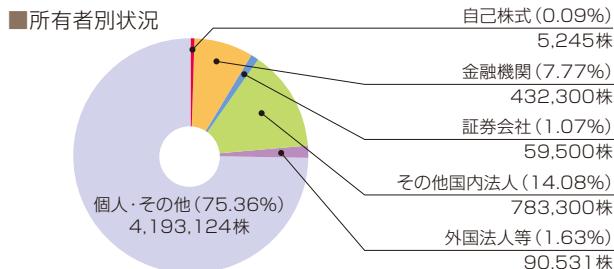
会社が発行する株式の総数 17,576,000株  
発行済株式の総数 5,558,755株  
(自己株式5,245株を除く)

株主数 1,664名  
大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社扇港鋼業所	601,400株	10.82%
山本 琴一	464,300株	8.35%
兼松エンジニアリング従業員持株会	430,000株	7.74%
山口 隆士	318,432株	5.73%
山本 吾一	262,860株	4.73%
三谷 恵美子	212,680株	3.83%
柳川 裕司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋介	133,848株	2.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	115,800株	2.08%

(注) 持株比率は、自己株式(5,245株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。  
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎.0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

**K&B 兼松エンジニアリング株式会社**

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>



**280**  
古紙配合率80%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。